

第31回例会報告(2月23日)

【出席報告】

- ・会員数 61名
 ・当日出席率 77.55%
 <欠席会員> 天野、檜垣(巧)、飯、菅、近藤(正)、西本、西信、越智(節)、酒井、竹田、田中
 [免除会員] 原(真)、原(竜)、近藤(憲)、松本、村上(敬)、中川、佐伯、白石(天)、高木、八木
 <2/9欠席補填> (1/30今治北)吉良、久米、西本、寺町 (1/31今治南)檜垣(巧)、門田、菅、清水、渡邊(一)、吉武 (2/7IAC)越智(節) (2/14今治南)田中
- ・出席数 40名
 ・前々回修正出席率 97.96%
 ・欠席数 21名

会長報告・原田政一会員に「第1回米山功労者」感謝状が届きました。
 ・2月19日(日)今治国際ホテルで開催されました国際ソロプチミスト今治の認証20周年記念式典に出席しました。
 ・先週報告しました2R-2Z今治サーチングライオンズ認証状伝達式の出席のお礼状が届きました。

幹事報告・Rレートが3月より、1ドル=118円に変更になります。
 ・その他回覧物：飯ガバナーエレクト夫妻サンディエゴ国際協議会での写真、RI年次大会参加旅行のご案内、四国ILシーズン公式戦チケット申込書

大澤SAA・先日のIMで今治南RCの矢野精一会長から報告があったように、四国アイランドリーグが3月に今治で合宿を始める。募金箱を回しますので任意で皆様の応分の支援をお願いします。

ロータリー情報委員会/門田委員長・地区協議会に関するお話をします。ロータリーの規約には、実施主体はガバナーエレクトでありガバナーではないとある。会長エレクトの参加が義務付けられており、出席免除を受ければ良いが、出席しないと就任できないとある。RI細則には、地区協議会はガバナーエレクトの指示、監督の下に、毎年なるべく4、5月に開催するようにとある。ロータリークラブ定款にも、会長エレクトはエレクトセミナー、地区協議会に出席しなければならないとあります。

ロータリー創立記念卓話 渡辺易廣会長

『101回目の創立記念日を迎えました。1905年2月23日にポール・ハリスが3人の仲間とシカゴで創立した。2回目は6人に。3回目は9人に増えた。このときに初代会長にシルベスター・シールを、クラブ名をロータリーにすることが決まった。(創立記念日は3月23日という説もある)当時のシカゴは交通の要衝として栄えていた。悪徳と腐敗の蔓延の背景の中でロータリーは生まれた。1906年1月に制定された定款には「親睦の充実」「職業上の利益の向上」が謳われている。自己中心的な相互扶助に対して会員内外から批判が出だした。1907年に会長に就任したポール・ハリスは方針を変換して「会員増強、他の都市での新クラブ設立、地域社会への奉仕活動」を提案した。親睦を目的として発足したロータリーは社会的に奉仕をする組織に進化し、最終的に「職業奉仕と社会奉仕」の2つの奉仕理念を確立した。職業奉仕の理念はシェルドンが提唱したもの。「He profits most who serves best」この言葉は第2のモットーとして生き続けている。また、世界大恐慌の時期に「四つのテスト」が制定された。社会奉仕の理念は、「Service above self」であり、ロータリーの第1モットーだ。この言葉の原型はフランクリンが語った「Service not self」だ。2つのモットーは1950年のデトロイト大会で正式に採択された。ただ当時は第1と第2が逆だったが、1989年の規定審議会で変更された。理論派と実践派の対立があったが、色々な混乱の後、決議23-34にて解決しました。』
 最後に、今治RCの歴史について創立から今日までの紹介がありました。



次回例会(3月2日)

【クラブ奉仕委員会アワー】

- | | | |
|---------|-------------|-------------|
| <会員誕生日> | 中川 嘉明氏(3/2) | 黒川 浩氏(3/5) |
| | 清水 一夫氏(3/5) | 前川 典和氏(3/7) |
| <夫人誕生日> | 尾越 優氏(3/7) | 光藤 廣司氏(3/8) |
| <結婚記念日> | 近藤 正人氏(3/4) | 飯 忠悟氏(3/5) |
| <入会記念日> | 西信 正男氏(3/2) | |
| | [献立 : 笹] | |